

彩の合気

発行
埼玉県合気道連盟

埼玉県合気道連盟機関紙NO. 7

道主入神 — 哀悼の辞 連盟理事長 川路 昌治



合気道を志す者にとっては、道主の逝去・入神の衝撃と落胆は、言葉に著すことができません。

道主の残された偉大なる業績は、国内はもとより、世界から称賛され、今日の合気道が発展・繁栄しました。その道主のご指導の下で修行稽古できた事は、この道に参する者の最も誇りとするところであり、道主が藍綬褒章及び勲三等瑞宝章叙勲を賜った時「これは私個人ではなく、合気道をする皆様に賜ったものと考えます」と述べられ、別け隔てのないその公平無死な姿勢は本部道場の朝稽古で身をもって実践され、お導き頂きました。

尚且つ、当連盟の講習会の講師として（第2・3回）ご教示賜ったことは、思いでと共に改めて、喜びを噛みしめ、亡き道主の神霊に感謝する次第です。

道主の高遠な御心の下に、これからも合気道の修養に勤めていくことを、連盟各位の皆様、深く心に誓い合おうではありませんか。

15周年記念誌発刊について

合気道道主 故植芝吉祥丸先生、植芝守央本部道場長、土屋義彦連盟会長をはじめ、大勢の方々のお力添えによりまして、発刊の実現をみました「記念誌」。

現在、本部道場関係・埼玉県92市町村・県体協・県連各支部道場の皆様にお送りし、当連盟の歩みと、今後の姿勢を、問うているところでございます。

今回の「記念誌」発刊は当連盟のあくまでも、飛躍への第一歩。今後の行く末こそが真に問われるものと、決意を新たにしますのでございます。

どうか、今後とも関係各位のご指導ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。

事務局より

*各支部・道場責任者各位…追加注文受け付けます。
(15周年記念誌)

県連の動き

1. 常任理事会（兼編集会議）：平成10年11月3日

今年度第2回常任理事会の内容を報告します。

中島相談役・川路理事長・山上編集委員・松橋事務局長らの参加により、「記念誌」発行についての最終打合わせ。発行部数・単価等確認。県連各支部・道場動向（演武会等）の交流。

2. 理事会主催忘年会：平成12年12月19日

年末の多忙な中、8支部・道場計13名の参加の許日頃の各支部・道場の個性あふれる運営や、また各人の合気道への情熱など、熱気が充満する中で、時は流れていきました。とにもかくにも、こと合気道となると、脳道にそれながらも話は留まるどころ知らず。

和光支部・御用達「養老の滝」は、閉店を過ぎても理事長を筆頭に、明日の合気道を語る声がかどましていた。そして、最後には、連盟にさらなる発展を固く誓い合ったのである。

3. 県体協加盟問題

昨年定期総会（5/23）で報告の通り、準加盟の方向で進行していると思われる。

今年、1月4日付けで県体協より「埼玉県体育協会加盟希望団体の郡市町村組織の整備状況について」の通知があり、それに応え、県連加盟団体（9/22）の現況を報告しておきました。この調査が同加盟にむすびつくものではないようですが、具体的な第一歩と期待しております。

4. 第14回埼玉県連少年部錬成会 日時決定

日時：平成11年4月18日（日）

場所：越谷市総合体育館

主管道場：連盟（越谷市合気道連盟）

平成11年の年終演武会

浦和合気会

「浦和合気会演武会」に関して
事務局代表 割田康仁

浦和合気会では、10月18日に無事に本年度演武会を行うことができました。合気道は試合がない武道ですが、その反面その人の実力もしくは力量が分かりづらいと共に、ある意味では独り合点に成りやすいとも言えます。

何故ならば、発表する機会が限られていることもその原因の一つと思われます。

今回は2年後の30周年を目的とした予行練習に重点を置いた演武会としました。一人ひとりの会員が場慣れするとともに、30周年の記念すべき催しをどのように進めていくべきかを考えて進めてみました。

その為にも、昨年までとは違う、会内部のみの演武会としましたが、会員各位のご努力により大変すばらしい演武会が出来たと思っております。

今後とも会員諸氏のご努力により来年・再来年と目指し頑張っております。



合気道和光支部

「20世紀最後の新年」
少年部指導員 尾形元枝

今年の幕開けは、悲しいかな道主の訃報に始まってしまいました。いまさらながら道主の存在の大きさを思い知りますね。

さて、現世にいる我々とはいうと、'道主に続け、とはいかないけれど、とにかくにも稽古です。よく、演武はその人の稽古の集大成と言われますが、本当にそうですね。あの、僅か数分間の中に、その人の全人格・信条・日頃の稽古の内容、すべてが見えてしまうからです。

昨年度も下半期は、演武会のシーズン中、当和光支部も、お誘いのまま数箇所の演武会におじゃまさせていただきました。

どこへ行っても感じることは、やはり各人各様の演武だったということでした。やさしそうな人は優しさが、英気あふれる方は、激しさが、また稽古の年数、密度から発する風格など、演武は本当に飾ることのできない一瞬であり、また大勢集まると、その支部の師範のカラーも垣間見ることができるから、面白い。

稽古って、気が抜けませんね。演武会は感銘を享受し、自己の稽古不足を再認識し、反省する。それが、演武会の魅力だと思います。

昨年も、合気道に始まり、合気道に終わる一年。「合気道をやること、何の意味があるのかしら」と、ふと思ふこともありましたが、けれど今回道主の死に臨んで、少し分かりかけてきました。それは、意味を問うことより、合気道を通した生き様がすべての証しではないかと。価値ある生のために今日も。



(第27回・和光支部演武大会スナップ)



桶川愛気会

「合気道桶川愛気会創立20周年記念」 待鳥峰喜

合気道桶川愛気会創立20周年記念演武大会は、9月13日午後1時半から、桶川市サンアリーナで本部道場より藤田師範を迎えて開催された。

演武は、一教、入身、四方投げの基本技から始まり、個人演武・指導員演武・本部道場藤田師範の演武と続き、招待道場演武（和光支部・座間米軍キャンプ・浦和合気会・東大和）のあとの石川師範の演武で締め括られ、総勢100名余が参加した。

藤田師範の演武では、合気道開祖「植芝盛平翁」との出会いから合気道の技術と本質が、初心者にも分かりやすく説明された。

尚、合気道桶川愛気会、創立以来指導にあたってこられた、藤田師範・石川師範及び牧野指導員・横山指導員に感謝状が贈呈された。

大会終了後、市内の料亭で直会が行われ、和やかな雰囲気の中に20周年記念行事が終了した。

寄稿・「記念行事に参加して」 和光支部 松橋

残暑厳しき中、老若男女・少年部、大勢の皆さんの演武にける熱気が、館内の温度をさらに上昇させていた。一人ひとりの個性を尊重する愛気会の指導方針が存分に伝わる、終日充実した演武会であった。



入間幸武館道場

「創立25周年記念
演武大会」 田島盛雄

去る9月13日(日)に、入間市合気道連盟創立20周年及び幸武館道場合気道部創立25周年にあたって、記念演武大会を入間市武道館において開催した。

幸武館は中島正吉館長、関戸章弘師範の熱意と尽力により館員も増加し、少年部・成人部ともに充実した稽古を続け、当時は日頃の精進の成果を発揮できた。

また、20余の高校・大学・一般道場のそれぞれの特色ある賛助演武により、大会を盛り上げていただいた。さらに、ご多忙のところご臨席下さった増田誠寿郎本部道場師範の力強い演武と、植芝守央道場長の合気道の目指す精神陶冶のお話に、参加者は深い感銘を受け、成功裡に終了した。

その後、直会において旧交を温め交流を深め、合気道のいっそうの発展を願う意義ある記念演武大会とすることができた。

ご来賓の方々、賛助演武へご協力いただいた監督、師範の方々に厚く感謝致すとともに、幸武館一同、合気道に精進し、入間市合気道連盟の発展に寄与する決意である。



加盟団体紹介

合気道健武館

「笑顔」
大屋洋人

合気道の稽古を行ううえで「楽しむ」という事を大切にしたいと思っています。

「武道を楽しむ?」と、首をひねる人もいるでしょう。また、恐れ顔をして稽古を行って人がいるかもしれませんが、この不景気の世の中ですと。

しかし、気持ちを転換させ、道衣のような真摯な心で楽しんで下さい。楽しめば笑顔が生まれ、心にゆとりができ、また、周囲の人たちの顔にも笑顔が生まれ、自分自身、周囲の人たちに良い影響を与える事ができます。

県連予定

- ①. 常任理事会 2月下旬
- ②. 理事会 4月18日(日)少年錬成会当日
- ③. 定期総会 5月22日(土)
- ④. 合同講習会 7月4日(日)場所未定

「佐々木師範の教育講演会」
須野原 勝

合気道においては、特別の資格を要さずに子供たちを指導しています。指導なされる方は教育者としての自覚を持ち、合気道の技術にのみ囚われずに、礼儀等の日常生活に活きる合気道を指導し、子供達の健全育成の一端を担って欲しいと思います。

今や学校は乱れ、学級崩壊などという言葉が使われるようになりました。そんな折、当神川町の青柳小学校のPTA会長の金澤光代(健武館)さんの働きかけにより「教育の根幹は躰」と題して、合気道師範佐々木将人先生による教育講演会が10月31日に開催されました。

— 教育とは、徳性を涵養し、良い習慣を身につけ、知識・技術を授けることなり。躰とは、朝の挨拶「ハイ」という返事、後始末が肝心である — ユーモアに満ちた講演の内容に、日常の何気ない習慣の大切さを悟られました。「凡事徹底」、日常生活に活きる実践教育が合気道の指導である事を、再認識しました。